

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。
☆役場総務企画課まで（電話72-0331）

防災力向上に貢献

黒坂地区自主防災委員会に総務大臣表彰

11月20日、地方自治法施行60周年記念式典が東京国際フォーラム（東京都）で行われ、その中で、黒坂地区自主防災委員会（福田和也会長）が地方自治功労団体として総務大臣表彰を受賞しました。
同委員会は平成14年に結成され、地域の防災力向上のために活動しています。

福田会長は、思いがけない立派な賞をいただき、一同感謝しています。これも住民の皆さんに防災について協力いただいたおかげです。鳥取県西部地震を教訓に、いっそう努力していきたい」と喜びを語りました。



結成時から会長をつとめる福田さん

秋晴れの夕タスキをつなぐ

町駅伝競争大会



各クラス一斉にスタート

11月17日、第47回体力づくり町駅伝競争大会（町ほか主催）が、根雨小学校で開かれました。

根雨小学校から安原カヌーの里までの、10キロ・11キロ・14キロの3コースでタスキをつなぐこの大会には、小学生から一般まで22チームが参加し、秋晴れのさわやかな天候の中、チームが一つになってゴールを目指しました。

大会結果（優勝のみ紹介） 小学生の部＝根雨ジュニアソフトテニスクラブA 中学生の部＝チエリーパイ 高校生の部＝日野高校B 一般の部＝チーム走る仲間たち

地域の文化活動を発表・展示

町内各地で地区文化祭にぎやかに

【野田文化祭】

11月23日・24日の2日間、第4回野田文化祭が、野田みちくさの館を会場に開かれました。

みちくさの館の中では、2日間にわたって趣味の作品展が行われ、写真・手芸品など、地域住民による作品が勢ぞろいし、来館者の目を楽しませました。



パッチワーク、陶芸などの力作が並ぶ（野田）

また、24日には会場前の広場でバーガーが行われ、恒例の豚汁サーブスや、新そば、香茸ご飯の販売、フリーマーケットなどにぎわいました。

【舟場文化祭】

11月25日には、第24回舟場産業文化祭が舟場コミュニティセンターで開かれました。

もちつきや作品展、とれたて野菜の販売や、いか焼き、ぜんざい、手打ちそばコーナーなど盛りだくさんの内容で、地区外からの来客も多くあり、交流を深めていました。



手打ちそば、ぜんざいが大人気（舟場）

懐かしい顔に出会う

ひの郷会ふるさと交流会



懐かしい顔が並ぶ記念撮影

関西地区在住の日野町出身者の懇話会、「ひの郷会」の恒例のふるさと交流会が、11月10日・11日に行われました。

今回は会員ら32人が来町し、金持神社やオシドリ観察など、故郷の観光地を訪問。山村開発センターで開かれた意見交換では、景山町長はじめ町関係者らとの懇親会が行われました。会員らは、懐かしい故郷の料理を味わいながら、まちの現状などについて意見を交わっていました。

地域に人権の輪を

人権啓発講演会

一人一人の人権を大切に、誰もが生きいきと暮らせるまちづくりを進めるため、12月4日、人権啓発講演会及び第32回町人権・同和教育研究会（町ほか主催）が、町文化センターで開かれ、講演会とシンポジウムが行われました。

講演会では、講師に鳥取大学医学部教授の藤井輝明さんを迎え、「笑う顔には福来る」と題した講演が行われました。藤井さんは、顔に腫瘍があるために受けた差別体験などを話したほか、「人間には、その人にしかできない役割や価値、魅力がある。この世に不要なだめな人間はいない」ということを地域で話し合っていてほしい」と訴え、集まった多くの参加者はうなずきながら聞いていました。



明るい中にも的確な語り口で体験を語る藤井さん

各事業所を訪問

第59回人権週間



チラシなどを手渡す山田さん（左）

身の回りの人権問題を考え、一人一人の人権意識を育てようと、12月4日から10日まで、第59回人権週間が行われました。

まちでは、この週間に合わせて、12月5日、人権擁護委員の山田厚弘さん（津地）が町内の事業所約30か所を訪問、啓発チラシや景品を手渡ししながら、みんなの人権が守られる明るいまちを目指しましょう」と訴えました。また、山村開発センターでは人権相談も行われました。

人権擁護委員は、毎月1回の人権相談や人権擁護の広報活動を行うため国から委嘱されるもので、町内では3人が委嘱されています。

絵本との出会いをお手伝い

たんぼぼの会袋づくり

町図書館では、赤ちゃんに絵本をプレゼントするブックスタート事業を行っています。

その際に絵本と一緒に手渡す袋をつくる作業が、12月5日、山村開発センターで行われました。

袋をつくるのは町内の女性グループ、たんぼぼの会（田口郁江代表）。生成りの布にフェルトでイラストを刺しゅうしたり、ポケットをつけたり、絵本などを入れる袋を手作業で仕上げていきました。

田口代表は、「今年から会員20人ではじめました。月に一回集まって手芸品を作っています。この袋でぜひ図書館に行つてほしい」と話しました。



「仲間と楽しく作っています。集まるのが楽しみ」と会員の声